



堂会長イ・ジエロク牧師

魂の救い

「あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、悔い改める必要のない九十九人の正しい人にまさる喜びが天にあるのです。」(ルカ15:7)

魂の救いの究極的な目標は、人々を永遠の天国に導くところにあります。それで、神の御子であるイエス様が人となって、この地上に来られたのです。全人類を救うために、惜しみなく尊い血を注ぎ出すことにより、世の光と希望にならってくださいました。

私たちもイエス様を見なさい、魂の救いに努めなければなりません。それでは、イエス様が世の人をすべての罪から救うことができた、その原動力は何でしょうか?

第一に、人々の数多くの咎をおおう愛がありました。

イエス様はこの地上で働いている間、ただ良いわざだけをされたのに、自分で迫害して殺そうとする人々に立ち向かったり、彼らを憎んだりされませんでした。それで、十字架につけられたイエス様に向かってあざける群衆についても、むしろ彼らの罪をお赦しくださいと神に祈られました。

「マタイの福音書27:40以下を見れば、「神殿を打ちこわして三日で建てる人よ。もし、神の子なら、自分を救ってみろ。十字架から降りて來い。」と言いかがわらののしる人々もあり、祭司長たちと律法学者、長老たちが「彼は他人を救つたが、自分は救えない。イスラエルの王さまなら、今、十字架から降りてもおうか。」とあります。それで、わかれわれは信じるから。」と言しながら、イエス様をあざけたりもしました。

このようにとんでもないことを言って、自分たちの咎を自ら現す人々であっても、イエス様は彼らの罪をお赦しくださいと神に求められました。そして、彼らのそむきの罪をおおってくださっただけでなく、彼らを責めることもなさいませんでした(第一ペテロ4:8)。

第二、人々を愛することのほかには、だれに対しても、何の借りもありませんでした。

イエス様はこの地上におられる間、どこのだれとも敵同士になったり、報われない思つたりされず、相手に苦しみを与えたり、つらくて難しい問題を負わせたりしたこと�이ありません。このように本当に愛があるならば、だれに対しても、何の借りもなく、ただ互いに愛し合うようになり(ローマ13:8)、まことに相手を愛したなら、その人のために良いわざだけをするのです。

イエス様は、數十年間病気にかかって苦しんでいた人々をいやしてくださることにより、まことの信仰を持つようしてくださいました。十二年の間、長血をわざわざしていた女(マタイ9:20)、一生歩けない人で生きてきた人々、中風で苦しんでいた人々をいやして、完全になさったのです。それだけではありません。ナインという町のやもめの息子を生き返らせて、人生の希望を持たせてください(ルカ7:11-16)、死んで四日も経つていたラザロを生かされて(ヨハネ11章)、信仰のな

い人々にまことの信仰を植えつけて下さいました。イエス様を慕つてあとを追つたけれど、食べる物がなくて空腹だった群衆のために、五つのパンと二匹の魚の奇跡で満腹させたりもなさいました(マタイ14:15-21)。

このように、イエス様はいろいろな不思議としたしを施し、良いわざだけをなさつてもかわらず、悪い人々はイエス様を憎んで殺そうとした。しかし、このように命が脅かされても、その行なわれたこと自体が良いわざであり、また愛があつたので、変わりなく行なつていかれたことが見られます。

第三、律法を全うする愛がありました。

「ローマ13:10」に「愛は隣人に対して害を与えません。それゆえ、愛は律法を全うします。」とあります。イエス様は数多い咎をおおつてくださり、人々を愛するほかには、だれに対しても何の借りもなかったので、愛によって律法を全うされました。

このように愛を実践すれば、いくら心の戸が堅く閉じられた人でも、その心が解けて伝道がうまくいきます。また、何かの誤解があつて教会を離れた人でも、神のふところに帰ることができます。

愛する聖徒の皆さん、

主が下さる知恵と力をいただいて大胆に福音を伝え、伝道の実を豊かに結んで祝福された生き方をされますよう、主の御名によって祈ります。

飯田万民教会みづばさ創立1周年

11月23日、飯田万民教会(担任ユ・スンギル牧師)が運営する老人福祉施設「マンミンディサービスみづばさ」が創立1周年記念礼拝をささげて祝賀行事を行った。ここでは毎朝クリスマスチャレンジ員が集まって利用者に福音を伝えるために祈り、キリスト教の映画上映と賛美歌およびゴスペルを歌う時間を通して福音を伝えている。飯田万民教会は1998年に「ボランティア会」を発足させて、活発な奉仕活動を繰り広げてきた。その功労を認められて、2009年に飯田市と長野県から感謝の盾と表彰状を授与された。「みづばさ」創立1周年記念礼拝の様子



舞鶴万民教会グループホームに主の愛伝える

舞鶴万民教会(担任キム・マルコ牧師)女性宣教会と聖歌隊、中高生部は12月11日、舞鶴市にあるグループホームさくらプラザ(障害があったり、ひとりで生活できないお年寄りのお世話をする福祉施設)を訪問して、主の愛を伝えた。聖歌隊がクリスマスキャロルを歌うと、お年寄りたちの堅かつた顔が明るくなつて、天使の服装をした中高生部ワーシップチームの賛美に、あちこちから感動の拍手が湧きおこつた。イエス様のご生誕とその意味について知らせた後、談笑しながら心を込めて準備したプレゼントを手渡した。お年寄りたちは目がしらを熱くして、聖徒たちの暖かい愛に感謝の気持ちを伝えた。



お年寄りと一緒に賛美する舞鶴万民教会の聖徒たち



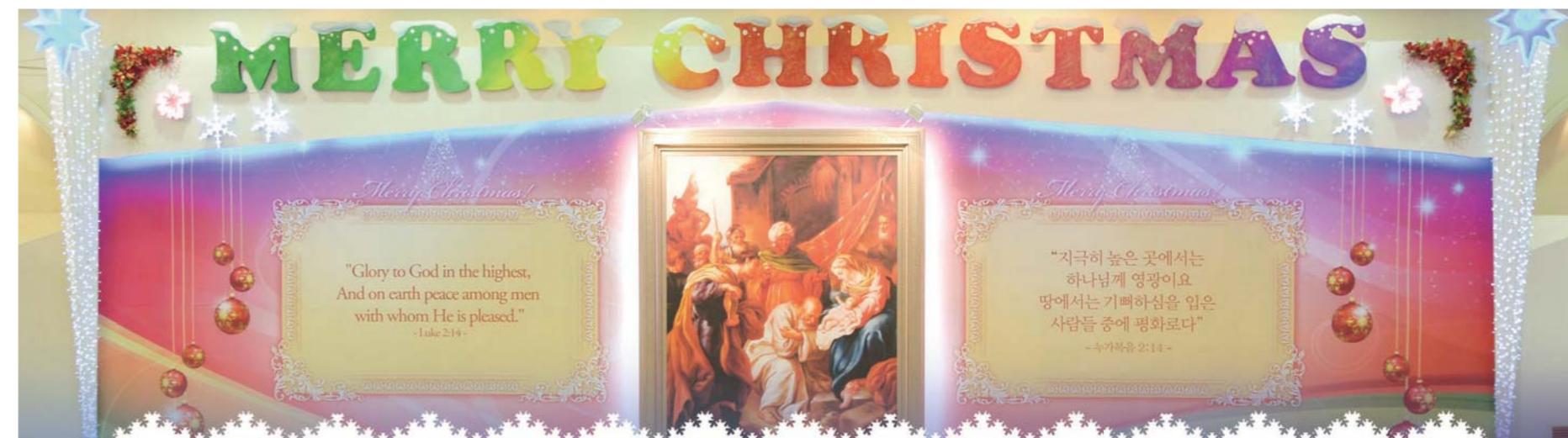
Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



MANMIN TV
Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org



Jap.
万民 ニュース
発行人: イ・ジエロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-0048 韓国ソウル市クロクドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048



東方の博士たちが用意した三つのささげ物 「黄金」「乳香」「没薬」



第一のささげ物 / 黄金は「心」

純度100%の黄金は、この地上で人々が最も愛する宝石の一つであり、永遠に変わらない。これは富と財産を象徴する。また、黄金はマタイ6:21に「あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。」とあるとおり、私たちの心を意味したりする。

靈的に乳香は「キリストの香り」を意味する。香水をつけて良い香りで悪臭を除去するように、私たちが悪はどんな悪でも避け、良い行ないでキリストの香りを放つ姿が、まさに主の御前に乳香をささげる姿である。神は私たちの行ないを見られるだけなく、心をご覧になるので、何より心の香りをかがれる。主をまことに愛する人なら、悪の性質はすべて捨てるために努力するだろう。

したがって、黄金をささげ物とするということは、私たちが持っているすべてを主にささげることを意味する。

幼子イエス様に黄金をささげたことを喜ばれた神は、私たちに黄金・宝石で建てられた美しい天国を贈り物として与えられた。すなわち、誰もイエス・キリストを信じることで天国が臨み、将来天国で永遠のいのちと幸を受けられるように祝福されたのである。

したがって、主をまことに信じる人々の心には天国がある。その心に天国への望みをもつて生きるようにされたのである。天国への望みがなければ、決して心が天国にならない。

天国に希望をおくほど、その心に天国が臨むのだ。

第二のささげ物 / 乳香は「キリストの香り」

乳香はカンラン科の常緑高木で、樹脂には芳香があり、古代エジプト時代からの薫香料である。聖書に出てくる乳香は紅海付近の乳香で、焚けば強い香りを放つ。これ

は【主】への火によるささげ物として

祭壇にささげられた(レビ24:7)。しかし、罪のためのいけにえ(レビ5:11)とねたみのささげ物(民数記5:15)では使用が禁止された。

靈的に乳香は「キリストの香り」を意味する。香水をつけて良い香りで悪臭を除去するように、私たちが悪はどんな悪でも避け、良い行ないでキリストの香りを放つ姿が、まさに主の御前に乳香をささげる姿である。神は私たちの行ないを見られるだけなく、心をご覧になるので、何より心の香りをかがれる。主をまことに愛する人なら、悪の性質はすべて捨てるために努力するだろう。

したがって、乳香をささげるよう、心の割合をしてキリストの香りを放つ人は、すべてにおいて自分の心に天国が臨み、将来天国で永遠のいのちと幸を受けられるように祝福されたのである。このように変わらない心になろうとすれば、まず悪はどんな悪でも避けなければならぬ。小さな悪でも残つていれば、自分の益を求めて変わることもあるからだ。

幼子イエス様に没薬をささげたことを喜ばれた神は、朽ちない命、すなわち、永遠のいのちを私たちに贈り物として与えられた。すなわち、永遠に地獄に行くしかなかった私たちが変わらない信仰を持って、主が来られる時に永遠に朽ちない新しいからだを着るようになるのである。このような神の愛、主の愛を深く感じ、黄金と乳香と没薬の靈的な意味を再確認して、主にまことのささげ物をささげる私たちになるべきである。

第三のささげ物 / 没薬は「変わらない信仰」

没薬とは香料の一種で、「没」は苦味を意味するペルシャ語(mor)が語源である。液体の没薬は高貴

